| 学校番号 | ３２３ |
|---|---|

# 令和２年度　書道科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編　書道Ⅰ　（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次は書道の基礎的技術や知識を学んでもらいます。全くの一から教えますので、ほとんど書道に携わったことがない生徒でも大丈夫です。小学校や中学校で学んだ書写とは大きく違います。時間的には少し急き立てられる感じはありますが、それを処理することにより、短期間でかなりの技量を身に付けることができます。欠席や遅刻をせず、真面目に取り組めば、かなり高い書的能力を身に付けられるでしょう。

## ２　学習の到達目標

短時間で多くの作業をこなすことにより、筆を扱う技術、文字造形の捉え方に慣れ、筆で文字を書いたり、絵や柄を描いたりすることへの抵抗感をなくす。その上で、自分なりの新しい何かを生み出す喜びを知る。また、書道の歴史を知り、文化や技術、知識、風習等は自国のみならず、グローバルな影響を与えあっていることを知る。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:書への関心・意欲・態度 | b:書表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書道の創造的活動の喜びを味わい、書道の伝統と文化に関心を持つ。積極的に技術習得に取り組み、その技量を自ら高めようと努力する姿勢を養う。 | 書道の奥深さや面白さを感得し、自らの感性を養い、またそれを活用しつつ作品の制作に生かそうと工夫している。 | 書表現をするための基礎的な技術の習得を目指す。先ずは正確な筆の動きを理解、感得し、それを表現しようと努めているか、また、それを生かして表現できている。 | 書道の歴史、それに伴う漢字や文字の歴史、大陸との関わり等を学び、文化や教養は広いエリアで影響し合っていることを理解、納得する。 |
| 評価方法 | ・提出作品<br>・ファイル<br>・各種レポート<br>・テスト<br>・観察 | ・提出作品<br>・ファイル<br>・各種レポート<br>・テスト<br>・観察 | ・提出作品<br>・ファイル<br>・観察 | ・テスト<br>・レポート<br>・観察 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1 | 楷書の学習 | ・用具、用材の使用方法について<br>・造形方法の基礎を知る<br>・書体の変遷<br>・徹底した縦画、横画の習得 | ○ | ○ | ○ | | a:積極的に授業を聞き、能動的に上達しようとする姿勢が見える。<br>b:　文字造形の基礎的な捉え方を理解しようとしている。<br>c:　基礎的な技法を積極的に習得しようとしている。<br>d: | ・提出作品<br>・観察 |
| 1 | 楷書の学習の発展 | ・複雑な文字の造形の理解と表現<br>・払い、転折の用筆法の理解と習得 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:　書道の歴史を知る。<br>b:複雑な点画の組み合わせを理解し文字のバランスを取る。<br>c:　筆の動きに着目し、それを理解、習得しようとしている。<br>d:テストによる書道知識の確認。 | ・提出作品<br>・観察<br>・ファイル<br>・レポート<br>・テスト |
| 2 | 行書と仮名等の学習 | ・行書の用筆法の理解と習得<br>・連続する点画の構成の理解<br>・造形的省略の美への理解<br>・行書の技法を踏まえた上で仮名の技法を理解、習得する。その上で漢字仮名混じり文の表現を理解する。 | ○ | ○ | ○ | | a:行書に関心を持ち、漢字の変遷に興味を示す。<br>b:楷書とは異質な用筆法や構成法を理解する。<br>c:行書や仮名特有の技術を習得しようと努力する。<br>d: | ・提出作品<br>・観察<br>・ファイル<br>・レポート |
| 2 | 行書の学習の発展 | ・横巻の制作準備を通し、より高度な行書の技法を習得する | ○ | ○ | ○ | ○ | a:継続的な授業を通し、長期間にわたる制作をこなす集中力を養う。<br>b:長期を見通す構想力を身に付ける。<br>c:一定エリアに均一に文字を書き連ねる技術を習得する。<br>d:テストによる書道知識の確認。 | ・提出作品<br>・観察<br>・ファイル<br>・レポート<br>・テスト |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 横巻の制作と感性 | ・横巻の完成 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:より高いレベルで作品を完成させようとする真摯な態度を養う。<br>b:均一な中に変化を表現する技能を習得する。<br>c:行書の多様な表現技術や造形法を習得する。<br>d:横巻レポートの提出により、書道に関する意識の変化や他管理を判断する。 | ・横巻<br>・観察<br>・レポート |

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。